

平成30年度

名古屋大学大学院環境学研究科

博士課程（前期課程）

地球環境科学専攻

都市環境学専攻

社会環境学専攻

学生募集要項

（平成30年4月入学 第I期募集）

名古屋大学大学院
環境学研究科

※不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

◇ 環境学研究科ホームページ

URL <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/>

◇ 連絡窓口

名古屋大学大学院環境学研究科 大学院係

TEL 052-789-4590/4272

平成30年度名古屋大学大学院環境学研究科博士課程（前期課程）入学試験実施予定表

専攻名	定員	第Ⅰ期募集（本要項による募集）			第Ⅱ期募集（平成30年2月試験実施予定）		
		一般選抜	留学生特別選抜	社会人特別選抜	一般選抜	留学生特別選抜	社会人特別選抜
地球環境科学専攻	53	実施する	実施する	実施しない	第Ⅰ期募集の合格者数等により実施を検討する	第Ⅰ期募集の合格者数等により実施を検討する	実施する
都市環境学専攻	47	実施する	実施する	実施する	第Ⅰ期募集の合格者数等により実施を検討する	第Ⅰ期募集の合格者数等により実施を検討する	第Ⅰ期募集の合格者数等により実施を検討する
社会環境学専攻	27	実施する	実施する	実施する	実施する	実施する	実施する

注1 「実施する」の場合も、系・コース等により受験に制限が加えられている場合があるので、募集要項の本文で詳細を必ず確認すること。

アドミッション・ポリシー (学生受入方針)

本研究科は、環境学を支える自然、都市、社会を対象とした伝統的な専門分野を深化させるとともに、専門分野の融合により環境問題解決への道筋を示し、さらに、その成果を専門分野の発展に還元させることを目指します。

幅広い環境問題に対応するために、本研究科は、惑星としての地球とその表層の大気・水圏の性状、動態、変遷を探究する地球環境科学専攻、都市の社会基盤、建築物などの人工環境を創造し、水・緑・土壌などの自然環境との調和を図る都市環境学専攻、人間の行動とそれを取り巻く社会環境との関連を考究し、環境政策を提言する社会環境学専攻、から構成されています。

これらの文理にまたがる専攻間の連携によって、持続可能かつ安全・安心な社会の実現をめざす環境学の研究・教育を実践します。

Department of
Earth and Environmental Sciences

Department of
Environmental Engineering and Architecture

Department of
Social and Human Environment



環境学研究科が育成しようとする人

人類社会の中での自らの役割を見出すことができ、国際的に活躍することができる、次のような人を育成することを目指します。

- ・専門分野の創造的推進、環境学の創成を担う人
- ・状況が変化したとしても専門的知識を柔軟に応用できる人
- ・異分野の成果を統合して環境問題に果敢に取り組む人

特に、地球環境科学専攻は、地球の環境に関する科学的知見の深化を通して社会に貢献できる人材、都市環境学専攻は、人の視点に立って、毎日の生活の場である建築、都市、あるいは地域における自然環境—人工環境—人間環境の新たな関係を自ら創出できる人材、社会環境学専攻は、価値規範の妥当性と科学的客観性を備えた政策評価・提言の可能性を追求する人材、あるいは国内外の社会環境政策にかかわる様々な分野の要求に応えることのできる人材、を育成します。

環境学研究科が求める人

確かな基礎学力をもつ次のような人を、広く日本全国および国外から受け入れます。社会人も歓迎します。

- ・専門分野の深化を目指す人
- ・横断的な思考力の獲得を志す人
- ・環境問題の解決、新たな学問分野の開拓への意欲をもつ人

環境学研究科の入学者選抜

専門分野および英語の基礎学力とともに、専門知識応用力、横断的思考力、勉学意欲などを評価する試験を行います。留学生や社会人向けの選抜も行います。

平成30年4月に本学大学院環境学研究科〔博士課程（前期課程）〕に入学する学生を下記の要項により募集する。

出願にあたっては、一般選抜のほか、外国籍を有し、本研究科に在留資格「留学」で在学することができる者は、留学生特別選抜を選択できる。

なお、最終学歴の後、平成30年3月31日までに2年以上の社会人（家事・家業従事者、退職者等を含む）としての経験を有し、出願時にも社会人の立場にあり、かつ正規学生・研究生でない者は、社会人特別選抜を選択できる。

また、出願にあたっては指導希望教員への事前連絡や内諾等を必要とする場合もあるので、受験を希望する試験の注意事項をよく確認すること。

各募集対象者の試験実施時期等については、P.1の「平成30年度名古屋大学大学院環境学研究科博士課程（前期課程）入学試験実施予定表」を参照すること。また、詳しい内容については本募集要項のほか、別冊の「平成30年度名古屋大学大学院環境学研究科入学（進学）試験受験案内（以下、受験案内）」もあわせて確認すること。

1. 出願資格

次の各号の一に該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成30年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項第1号の規定により学士の学位を授与された者及び平成30年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 平成30年3月31日までに、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課

程若しくは我が国において外国の大学の課程（その修了者が学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者（ただし、上記資格(1)該当者は除く）

(10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月31日までに22歳に達する者

* 出願資格(9)、(10)により出願しようとする者は、出願資格の有無について事前審査を実施するので、あらかじめ本研究科大学院係に照会の上、平成29年6月30日（金）までに所定の申請書類を提出すること。合計16年の課程を修了していない者は、事前審査を受けなければならない。

** 出願資格(9)のうち、「大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科が認めた者（いわゆる飛び級）」に対する選抜は、都市環境学専攻・建築学コースのみ第Ⅰ期募集（本募集要項によるもの）で行い、他の専攻・コースについては、平成30年2月に実施する第Ⅱ期募集にて行う予定である。

「大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科が認めた者（いわゆる飛び級）」に対する入学者選抜により入学した者は、在学中の大学は退学となり、学士の学位を修得しないまま大学院博士前期課程に入学することとなる。したがって、大学の学部卒業を要件とする各種国家試験等においては、受験資格を満たさないこととなるので注意すること。

2. 募集人員

地球環境科学専攻	53名
都市環境学専攻	47名
社会環境学専攻	27名

* 募集人員には、本募集の人員、平成30年2月実施予定の第Ⅱ期募集の人員が含まれる。さらに、地球環境科学専攻、都市環境学専攻空間環境学コース・物質環境学コース及び社会環境学専攻に関しては、平成30年8月実施予定の平成30年秋入学募集の人員も含まれる。

（留学生特別選抜による各専攻の定員5名、社会人特別選抜による若干名を含む。）

3. 願書受付期間

受付期間：平成29年7月7日（金）～7月14日（金） ※ 土日祝日を除く

受付時間：（持参の場合）10時～12時、13時～16時

4. 出願手続き

郵送もしくは本研究科大学院係窓口への持参のいずれかとする。郵送の場合、送付は、簡易書留郵便または速達書留郵便とすること。上記における最終日の16時までに到着したものに限り受け付ける。ただし、7月12日（水）以前の発信局（日本国内）消印のある速達書留郵便に限り、期限後に到着した場合も受理する。持参の場合、受付最終日は、窓口の混雑が予想されるため、可能な限り前日

までに持参することが望ましい。

志願者は、5.1項(1)～(9)の書類の内、出願に必要とする書類一式を表面に「大学院博士課程（前期課程）入学願書在中」と朱書した封筒に入れ、入学検定料30,000円を添えて、提出すること。入学検定料は郵便局の普通為替とし、為替には一切記入しないこと。なお、国費外国人留学生は、入学検定料は不要である。

●出願書類の送付もしくは提出先

名古屋市千種区不老町 D2-2 (510) (郵便番号 464-8601)

名古屋大学大学院環境学研究科 大学院係

●留意事項

- 1) 出願書類に不備のある場合は受け付けないので留意すること。
- 2) 出願手続き後は、いかなる事情があっても書類の変更は認めない。
また、出願書類及び入学検定料の返還は行わない。
- 3) 受験票の発送には、諸事情により期間を要する場合がありますので、願書の受理及び受験票の発送についての照会は、試験実施日の5日前まで行わないこと。

5. 提出書類

5.1 出願時に提出する書類

入学志願者は、次の書類を上記「4. 出願手続き」に従って本研究科に提出すること。

- (1) 入学志願票，受験票，写真票，履歴書，志願理由書
本研究科所定の用紙に記入したもの。(Webでダウンロードしたものは不可)
- (2) 卒業（見込）証明書又は出願資格を証明する書類
ただし、外国の大学を卒業した者は、大学又は公証所等が発行した証明書（日本語あるいは英語で書かれていない場合は、英訳版を添付）を提出すること。(コピーは不可)
- (3) 成績証明書
出身大学長又は学部長が作成し、改ざんが行えない処理が施されたもの。
編入学者は、編入学前の学校が発行した証明書も併せて提出すること。
外国の大学を卒業した者は、大学又は公証所等が発行した証明書（日本語あるいは英語で書かれていない場合は、英訳版を添付）を提出すること。(コピーは不可)

【注：中国の大学卒業の方へ】

中国の大学卒業者の(2)卒業（見込）証明書，ならびに(3)成績証明書について疑義がある場合，中国政府直轄財団「中国教育部学位与研究生教育发展中心（CDGDC）」が運営している，「中国学位・学歴認証システム」により学歴を確認することがあるので留意すること。

- (4) 自己推薦書（地球環境科学専攻，都市環境学専攻建築学コースまたは社会環境学専攻で自己推薦入試を受験する者）

地球環境科学専攻もしくは社会環境学専攻の自己推薦入試を受験する者は、本研究科所定の用紙（志願理由書の裏面）に記入したもの。都市環境学専攻建築学コースの自己推薦入試を受験する者は、本募集要項で指示する所定の様式に従い、10ページ以内にまとめたもの。

- (5) TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシート原本（社会環境学専攻で自己推薦入試を受験する者）
 社会環境学専攻で自己推薦入試を受験するものは、TOEFLの“Examinee Score Report”，TOEICの“Official Score Certificate”〈公式認定証〉，またはIELTSの“Test Report Form”〈成績証明書〉（以下，これらを「TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシート」と呼ぶ）の原本を提出する。ただし，TOEFLについては，iBT（Internet-Based Test）またはPBT（Paper-Based Test）のいずれかとする。TOEICについては，Listening & Reading Testに限る。IELTSについては，アカデミック・モジュールに限る。今回の募集に関しては平成27年8月1日以降に受験したものを有効とする。平成27年7月31日以前に受験したものや，その他の受験制度，例えばTOEFL-ITP（Institutional Testing Program），TOEIC-IP（Institutional Program），TOEIC（Speaking & Writing Test），TOEIC（Bridge Test），IELTS ジェネラル・トレーニング・モジュールなどのスコアは受け付けない。
- なお，英語を主要言語として教育を行う高等教育機関を卒業・修了したもの，あるいは卒業・修了予定のものは，スコアシートの提出を必要としない。
- (6) 領収証書，領収証書（控）
 本研究科所定の用紙に，氏名のみ記入のこと。
- (7) 返信用封筒 2通（受験票送付用，判定結果通知用）
 本研究科所定の返信用封筒2通に住所，郵便番号，氏名を明記して提出すること。
 なお，受験票送付用封筒には362円分の切手を貼付すること。
- (8) 宛名シール（入学手続書類の送付用）
 本研究科所定の用紙に，住所，郵便番号，氏名を明記して提出すること。
- (9) 現在，国費外国人留学生である者はその証明書（在学している大学発行のもの）

5.2 試験当日に提出する書類

地球環境科学専攻および都市環境学専攻の入学志願者は，TOEFL（Test of English as a Foreign Language），TOEIC（Test of English for International Communication），またはIELTS（International English Language Testing System）の次の書類のいずれかを，試験当日の下記「6. 選抜方法等」に指定された時間及び方法で提出すること。提出されなかった場合，試験科目「英語」の点数を零点とする。また，提出されたスコアシートの原本は試験後においても返却しない。ただし，地球環境科学専攻を受験する者で，同専攻が実施するTOEFL-ITP 試験を受験することを出願時に選択した者は，提出不要である。

○ TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシート原本

「TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシート」の原本を提出する。ただし，TOEFLについては，iBT（Internet-Based Test）またはPBT（Paper-Based Test）のいずれかとする。TOEICについては，Listening & Reading Testに限る。IELTSについては，アカデミック・モジュールに限る。今回の募集に関しては平成27年8月1日以降に受験したものを有効とする。平成27年7月31日以前に受験したものや，その他の受験制度，例えばTOEFL-ITP（Institutional Testing Program），TOEIC-IP（Institutional Program），TOEIC（Speaking & Writing Test），TOEIC（Bridge Test），IELTS ジェネラル・トレーニング・モジュールなどのスコアは受け付けない。

6. 選抜方法等

入学者の選抜は、一般選抜、留学生特別選抜及び社会人特別選抜に分けて行い、出願書類、学力検査により総合的に判定し、合格者を決定する。

各選抜の学力検査試験実施時期等については、P.1の「平成30年度名古屋大学大学院環境学研究科博士課程（前期課程）入学試験実施予定表」を参照すること。

また、各試験の詳しい内容については、本募集要項のほか、別冊の受験案内もあわせて参照すること。

6.1 地球環境科学専攻

地球環境科学専攻には、地球惑星科学系と大気水圏科学系がある。

地球惑星科学系には、地球環境システム学、地質・地球生物学、地球化学、地球惑星物理学、地球惑星ダイナミクス、地球史学、生態学の各分野がある。

大気水圏科学系には、地球環境変動論、気候科学、物質循環科学、地球水循環科学の各分野がある。

試験科目「英語」については、原則として、TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの提出を求め、その点数を換算して採点する。提出可能なスコアシートについては、「5.2 試験当日に提出する書類」の項を参照すること。また、スコアシートの提出方法については、別冊の受験案内を参照すること。なお、TOEFL/TOEIC/IELTS のスコアシートを提出できず、かつ出願時に申し込んだ者に限り、当専攻が実施する TOEFL-ITP 試験を受験することができる。当専攻が実施する TOEFL-ITP 試験は近い将来廃止することを検討している。

① 一般選抜

学力検査は、普通入試（英語、専門科目及び口述試験）または自己推薦入試（英語及び口述試験）により行う。試験科目「英語」については、原則として、TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの提出を求め、その点数を換算して採点する。普通入試と自己推薦入試については、地球惑星科学系の受験志願者は一方または両方を受験することができる。大気水圏科学系の受験志願者は一方のみ受験することができる。自己推薦入試を受験する者は自己推薦書（志願理由書の裏面）を提出すること。

なお、希望研究テーマなどについて、事前に希望指導教員等に連絡をとることが望ましい。

試験種別	年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
普通入試	平成29年8月9日（水）	13：00～15：30	TOEFL-ITP 試験（申込者のみ）
	平成29年8月22日（火）	13：00～13：15	英語スコアシートの提出（注2）
		13：30～16：30	筆記試験（専門科目）（注3）
平成29年8月23日（水）	9：00～12：00	口述試験（注4）	
自己推薦入試 （注1）	平成29年8月9日（水）	13：00～15：30	TOEFL-ITP 試験（申込者のみ）
	平成29年8月23日（水）	13：00～13：15	英語スコアシートの提出（注2）
		15：00～18：00	口述試験（注5）

（注1） 大気水圏科学系の自己推薦入試は、理系の学部・学科以外の出身者を対象とする。

（注2） TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本を提出すること。

（注3） 出題内容

- 地球惑星科学系を第一志望とする者：地球惑星科学の基礎となる分野の8問（地球環境学，地球科学Ⅰ，地球科学Ⅱ，地球科学Ⅲ，物理学，化学，生物学，数学）から，任意の2問を選択する。
- 大気水圏科学系を第一志望とする者：大気水圏科学の基礎となる分野の7問（地球環境学，地球物理学，地球化学，物理学，化学，生物学，数学）から，任意の2問を選択する。
- 試験時に関数電卓を貸し出すが，持ち込みは認めない。
- 専門科目の出題範囲は，別冊の受験案内の地球環境科学専攻の「3. 専門科目の出題範囲」の項目を参照すること。

(注4) 卒業研究の内容や志望分野で研究したい内容などについて，口頭試問を行う。

(注5) 卒業研究の内容や志望分野で研究したい内容，自己アピールしたい点などについて，5分以内で発表すること。その内容に基づいて口頭試問を行う。

② 留学生特別選抜

学力検査は，以下の日程で行う。試験科目「英語」については，原則として，TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの提出を求め，その点数と英語面接の点数によって採点する。

なお，出題等については語学能力，既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので，必ず事前に指導希望教員等に連絡を取ること。

年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
平成29年8月9日 (水)	13:00~15:30	TOEFL-ITP 試験 (申込者のみ)
平成29年8月22日 (火)	13:00~13:15	英語スコアシートの提出 (注1)
	13:30~16:30	筆記試験 (専門科目) (注2)
平成29年8月23日 (水)	9:00~12:00	口述試験 (注3)・英語面接 (注4)

(注1) TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本を提出すること。

(注2) 既習内容に即した専門科目から出題する。日本語の読解力等を考慮し，出題及び解答は日本語又は英語とする。

(注3) 「①一般選抜」の(注4)に同じ。

(注4) 志望動機や入学後の研究計画などについて，英語で口頭試問を行う。

③ 社会人特別選抜

第Ⅰ期募集においては社会人特別選抜は実施しない。第Ⅱ期募集においては社会人特別選抜を実施する予定である。

④ 試験場所

各試験の会場は，別冊の受験案内を参照すること。

⑤ 第2志望

一般選抜において，受験者は志望する指導教員または分野を第2志望まで記入することが可能である。第2志望がある場合は，提出書類の所定欄に記入すること。地球惑星科学系と大気水圏科学系と2つの系に分けて試験を実施するので，第1志望と第2志望とが異なる系である場合に

は、第1志望の系だけではなく、第2志望の系でも口述試験を課すことがある。その有無及び時間・場所は試験当日に指示する。

6.2 都市環境学専攻

都市環境学専攻には、空間環境学コース、物質環境学コース及び建築学コースがある。

都市環境学専攻の学生募集は、第I期募集（本募集要項によるもの）を行うほか、第I期募集における入学試験合格者数等の状況を勘案して、第II期募集（平成30年2月実施予定）を行うことがある。「名古屋大学国際環境人材育成プログラム」参加者の選抜は、都市環境学専攻空間環境学コースの入試にしたがって実施する。同プログラムについては、別冊の受験案内を参照すること。

第I期募集（本募集要項によるもの）では、A日程（空間環境学コースと物質環境学コース、建築学コース）、B日程（空間環境学コース、建築学コース）の2つの日程で入試を行う。

試験科目「英語」については、TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの提出を求め、その点数を換算して採点する。提出可能なスコアシートについては、「5.2 試験当日に提出する書類」の項を参照すること。また、スコアシートの提出方法やスコアの換算方法については、別冊の受験案内を参照すること。

日程	コース	年 月 日
A 日程	空間環境学コース	平成29年 8 月 3 日
	物質環境学コース	平成29年 8 月 3 日
	建築学コース	平成29年 8 月 4 日
B 日程	空間環境学コース	平成29年 8 月22日～24日
	建築学コース	平成29年 8 月22日～23日

(2.1) 空間環境学コース

① 一般選抜

学力検査は、以下の日程で行う。A日程では、土木工学系以外の出身者を想定した試験を行う。B日程では、土木工学系の出身者を想定した試験を行う。A日程とB日程の両方を受験することはできない。試験科目「英語」については、提出されたTOEFL、TOEICまたはIELTSのスコアを換算して採点する。

日程	年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
A 日程	平成29年 8 月 3 日 (木)	9 : 30～12 : 00	筆記試験 (専門科目Ⅰ) (注1)
		13 : 00～15 : 00	筆記試験 (専門科目Ⅱ) (注2)
		17 : 30～	面接 (注3)
B 日程	平成29年 8 月22日 (火)	13 : 30～16 : 30	筆記試験 (専門科目Ⅰ) (注4)
	平成29年 8 月23日 (水)	9 : 00～13 : 00	筆記試験 (専門科目Ⅱ) (注5)
	平成29年 8 月24日 (木)	9 : 00～12 : 00	面接 (注6)

(注1) (1)環境工学・環境政策, (2)システム学, (3)化学の合計3分野からそれぞれ1～4問が出題されるので、任意に3問を選択解答する。出題範囲は別冊の受験案内を参照すること。また、本試験時間中にTOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本を回収する。

(注2) 小論文2問を課す。出題範囲は別冊の受験案内を参照すること。

- (注3) 主として、志望の動機、入学後の学修・研究計画及びそれに関連する事項について試問する。
- (注4) 小論文1問と応用数学の複数設問中から任意に3問を選択解答する。出題範囲は別冊の受験案内を参照すること。
- (注5) (1)構造・材料工学, (2)地盤工学, (3)水工学, (4)計画学, (5)環境工学の合計5分野からそれぞれ2～3問が出題されるので、5問を選択する。ただし、1つの分野から選択可能な問題は2問までとする。出題範囲は別冊の受験案内を参照すること。また、本試験時間中にTOEFL/TOEIC/IELTSスコアシートの原本を回収する。
- (注6) 主として、志望の動機、入学後の学修・研究計画及びそれに関連する事項について試問する。

② 留学生特別選抜

留学生特別選抜学力検査は、以下のA日程のみで行う。試験科目「英語」については、提出されたTOEFL, TOEICまたはIELTSのスコアを換算して採点する。

なお、出題等については、語学能力、既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので、必ず事前に指導希望教員に連絡を取ること。

日程	年月日	試験時間	試験方法(科目)
A 日程	平成29年8月3日(木)	9:30~12:00	筆記試験(専門科目Ⅰ) (注1)
		13:00~15:00	筆記試験(専門科目Ⅱ) (注2)
		17:30~	面接 (注3)

(注1~3) 「①一般選抜」の(注1~3)に同じ。

③ 社会人特別選抜

社会人特別選抜の学力検査は、以下のA日程のみで行う。試験科目「英語」については、提出されたTOEFL, TOEICまたはIELTSのスコアを換算して採点する。

日程	年月日	試験時間	試験方法(科目)
A 日程	平成29年8月3日(木)	9:30~12:00	口述試験 (注1)
		17:30~	面接 (注2)

(注1) 主として、専門科目に関する知識を問う。また、本試験時間中にTOEFL/TOEIC/IELTSスコアシートの原本を回収する。

(注2) 「①一般選抜」の(注3)に同じ。

④ 試験場所

各試験の会場は、別冊の受験案内を参照すること。

⑤ 第2志望

B日程受験者は建築学コースを第2志望とすることが可能である。第2志望の有無を入学志願票の所定欄に記入すること。記入のない場合は、志望しないものとみなす。第2志望者には、そのコースの面接を課す場合がある。その有無及び時間と場所については、筆記試験の時に指示する。

(2.2) 物質環境学コース

一般選抜、留学生特別選抜、社会人特別選抜いずれもA日程にて実施する。

① 一般選抜

学力検査は、以下のA日程で行う。試験科目「英語」については、提出されたTOEFL, TOEIC または IELTS のスコアを換算して採点する。

日程	年月日	試験時間	試験方法(科目)
A 日程	平成29年8月3日(木)	9:30~12:00	筆記試験(専門科目Ⅰ) (注1)
		15:00~	口述試験 (注2)

(注1) (1)環境工学・環境政策, (2)システム学, (3)化学の合計3分野からそれぞれ1~4問が出題されるので、任意に3問を選択解答する。出題範囲は別冊の受験案内を参照すること。また、本試験時間中に TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本を回収する。

(注2) 専門に関する知識を口頭で問う。

② 留学生特別選抜

学力検査は、以下のA日程で行う。試験科目「英語」については、提出されたTOEFL, TOEIC または IELTS のスコアを換算して採点する。

なお、出題等については、語学能力、既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので、必ず事前に指導希望教員に連絡を取ること。

日程	年月日	試験時間	試験方法(科目)
A 日程	平成29年8月3日(木)	9:30~12:00	筆記試験(専門科目Ⅰ) (注1)
		15:00~	口述試験 (注2)

(注1~2) 「①一般選抜」の(注1~2)に同じ。

③ 社会人特別選抜

学力検査は、以下のA日程で行う。試験科目「英語」については、提出されたTOEFL, TOEIC または IELTS のスコアを換算して採点する。

日程	年月日	試験時間	試験方法(科目)
A 日程	平成29年8月3日(木)	9:30~12:00	口述試験 (注1)

(注1) 主として、志望の動機、入学後の学修・研究計画及びそれに関連する事項について試問するとともに、専門分野に関する知識を問う。また、本試験時間中に TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本を回収する。

④ 試験場所

各試験の会場は、別冊の受験案内を参照すること。

(2.3) 建築学コース

一般選抜(自己推薦入試)はA日程で、それ以外はB日程で実施する。

① 一般選抜

学力検査は、以下の日程で行う。試験科目「英語」については、提出されたTOEFL, TOEIC

または IELTS のスコアを換算して採点する。

A 日程の自己推薦入試の志願者には、志願票とともに別途、これまでの学修等活動の内容と入学後の学修や研究等に関して記した自己推薦書の提出を求める。志願票と自己推薦書をもとに書類審査を行い、下記の日程で実施される口述試験の受験可否を連絡する。なお、A 日程と B 日程の両方に出願することはできない。

日程等	年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
A 日程 自己推薦入試 (注 1)	平成29年 8 月 4 日 (金)	13 : 30 ~ 17 : 30	口述試験 (注 2)
B 日程 普通入試	平成29年 8 月 22 日 (火)	13 : 30 ~ 18 : 30	筆記試験 (専門科目 I (注 3) 「計画系・設計製図」 (注 4))
		13 : 30 ~ 17 : 30	筆記試験 (専門科目 I (注 3) 「環境系」「構造系」 (注 4))
	平成29年 8 月 23 日 (水)	9 : 00 ~ 12 : 00 13 : 30 ~	筆記試験 (専門科目 II) (注 5) 面接 (注 6)

(注 1) 自己推薦書は所定の様式に従って10ページ以内にまとめ、志願票とともに提出すること。自己推薦書の作成においては、必要に応じて図表や写真等を掲載してもよい。

(注 2) 自己推薦入試の口述試験では、受験者が志願票とともに提出した自己推薦書をもとに口頭発表し、その内容に関して質疑応答を行う。また、口述試験の前に TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本の提出を求める。

(注 3) 本試験時間中に TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本を回収する。

(注 4) 普通入試・筆記試験 (専門科目 I) では、(1)計画系・設計製図、(2)環境系 (設備・環境) 及び(3)構造系 (構造・材料) の 3 分野から 1 分野を選択して解答する。選択する分野は、別冊の受験案内に従って事前に申請すること。

(注 5) 普通入試・筆記試験 (専門科目 II) では、建築、都市に関わる、意匠・歴史・計画・設備・環境・構造・材料の全分野からの問題に解答する。

(注 6) 面接では、主として、志望の動機、入学後の学修・研究計画及びそれに関連する事項について試問する。

② 留学生特別選抜

学力検査は、以下の B 日程で行う。試験科目「英語」については、提出された TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアを換算して採点する。

日程	年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
B 日程	平成29年 8 月 22 日 (火)	13 : 30 ~ 18 : 30	筆記試験 (専門科目 I (注 1) 「計画系・設計製図」 (注 2))
		13 : 30 ~ 17 : 30	筆記試験 (専門科目 I (注 1) 「環境系」「構造系」 (注 2))
	平成29年 8 月 23 日 (水)	13 : 30 ~	面接 (注 3)

(注 1) 筆記試験 (専門科目 I) では、(1)計画系・設計製図、(2)環境系 (設備・環境) 及び(3)構造系 (構造・材料) の 3 分野から 1 分野を選択して解答する。選択する分野は、別冊の受験案内に従って事前に申請すること。

(注2) 本試験時間中に TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本を回収する。

(注3) 面接では、主として、志望の動機、入学後の学修・研究計画及びそれに関連する事項について日本語で試問する。

③ 社会人特別選抜

学力検査は、以下のB日程で行う。試験科目「英語」については、提出された TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアを換算して採点する。

日程	年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
B 日 程	平成29年8月22日 (火)	13:30~18:30	筆記試験 (専門科目 I (注1) 「計画系・設計製図」) (注2)
		13:30~17:30	筆記試験 (専門科目 I (注1) 「環境系」「構造系」) (注2)
	平成29年8月23日 (水)	13:30~	面接 (注3)

(注1) 筆記試験 (専門科目 I) では、(1)計画系・設計製図、(2)環境系 (設備・環境) 及び(3)構造系 (構造・材料) の3分野から1分野を選択して解答する。選択する分野は、別冊の受験案内に従って事前に申請すること。

(注2) 本試験時間中に TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本を回収する。

(注3) 面接では、主として、志望の動機、入学後の学修・研究計画及びそれに関連する事項について試問する。

④ 試験場所

各試験の会場は、受験票発送時に通知する。

⑤ 第2志望

空間環境学コースを第2志望とすることが可能である。第2志望の有無を入学志願票の所定欄に記入すること。記入のない場合は、志望しないものとみなす。第2志望者には、そのコースの面接を課す場合がある。その有無及び時間と場所については、筆記試験の時に指示する。

6.3 社会環境学専攻

① 一般選抜

学力検査は、以下の日程で行う。

なお、志願者は、志願分野及び指導教員を決定するにあたり、出願前に指導希望教員もしくは所属希望講座 (分野) の教員に連絡をとることが望ましい。

	年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
普通入試	平成29年8月17日 (木)	9:30~11:30	筆記試験 (専門科目 I) (注1)
		13:00~14:00	筆記試験 (専門科目 II) (注2)
	平成29年8月18日 (金)	9:30~	口述試験
自己推薦入試(注3)	平成29年8月18日 (金)	9:30~	口述試験 (注4、5)

- (注1) 筆記試験(専門科目Ⅰ)は、入学志望分野からの出題に解答すること。
 筆記試験(専門科目Ⅰ)では、辞書・電卓等の持ち込みを認めない。
 筆記試験(専門科目Ⅰ)の分野別の出題範囲は以下のとおりである。

環境政策論分野	環境政策に関する1問および、他分野(経済環境論・環境法政論・社会学・地理学)から任意で選択した1問の、合計2問に解答する。
経済環境論分野	以下から2問を選択し解答する。 環境経済学, 経済理論, 統計学, 組織環境論
環境法政論分野	以下から2問を選択し解答する。 環境法, 公法(行政法を中心に出题する), 国際法, 国際政治, 環境政治, 環境ガバナンス
社会学分野	社会学概論, 社会学学説史, 社会調査法 以上の領域から合計2問を出題する。英文問題を含む。
地理学分野	人文地理学, 自然地理学, 地理調査法に関する専門知識と論述能力を問う。 合計2問を出題する。

- (注2) 筆記試験(専門科目Ⅱ)は、入学志望分野からの出題に解答すること。
 筆記試験(専門科目Ⅱ)では、辞書・電卓等の持ち込みを認めない。
 筆記試験(専門科目Ⅱ)の分野別の出題範囲は以下のとおりである。

環境政策論分野	専門に基づいた英文問題を出題する。
経済環境論分野	専門に基づいた英文問題を出題する。
環境法政論分野	専門に基づいた英文問題を出題する。
社会学分野	社会学に関する問題について自由論述を課す。
地理学分野	外国語の設問を含む地理学全般。

- (注3) 自己推薦入試を希望するものは、平成29年6月30日(金)までに指導希望教員から事前に了承を得なければならない。(自己推薦入試は、特に高い能力を有すると指導希望教員が判断した者のみ受験が認められる。それ以外の場合は普通入試を受験すること。なお、普通入試と自己推薦入試の併願は認めない。)また、入学志願票の志望専攻・受験希望選択欄の右にある備考欄に、事前了承を得た教員名を明記すること。

- (注4) 自己推薦入試においても来学受験を原則とするが、受験のための来学が極めて困難な場合、Skype等のビデオ通話ソフトを用いたオンライン受験を認めることがある。オンライン受験を希望する者は必ず、希望する指導教員の内諾を平成29年6月30日(金)までに取り、入学志願票の志望専攻・受験希望選択欄の右にある備考欄にその旨を明記すること。(希望が必ず認められるわけではない。)オンライン受験の希望者は、上記日程の指定された時間(日本時間)に、音声、画像とも良好な状況で通信可能な環境を自らの責任で確保しなければならない。なお、通信環境の問題で口述試験の実施に支障が生じた場合、欠席扱いとすることがある。

- (注5) 自己推薦入試のオンライン受験希望者には、受験票発送時にオンライン受験の可否、オンライン試験を行う場合の試験会場及び指定時刻を通知する。

② 留学生特別選抜

学力検査は、以下の日程で行う。

なお、出題等については、語学能力、既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので、必ず事前に指導希望教員に連絡を取ること。

年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
平成29年8月17日 (木)	9 : 30~11 : 30	筆記試験 (専門科目Ⅰ) (注1)
	13 : 00~14 : 00	筆記試験 (専門科目Ⅱ) (注2)
平成29年8月18日 (金)	9 : 30~	口述試験

(注1, 2) 「①一般選抜」の(注1, 2)に同じ。

③ 社会人特別選抜

学力検査は、以下の日程で行う。

なお、志願者は、志願分野及び指導教員を決定するにあたり、出願前に指導希望教員もしくは所属希望講座(分野)の教員に連絡をとることが望ましい。

年 月 日	試 験 時 間	試 験 方 法 (科 目)
平成29年8月17日 (木)	9 : 30~11 : 30	筆記試験 (専門科目Ⅰ) (注1)
平成29年8月18日 (金)	9 : 30~	口述試験

(注1) 「①一般選抜」の(注1)に同じ。

④ 試験場所

各試験の会場は、受験票発送時に通知する。

6.4 採点評価・合否判定基準

専攻名	採点評価基準	合否判定基準
地球環境科学専攻	<p>①英語</p> <p>【一般選抜】 TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアから、英語に関する基礎的能力を評価する。</p> <p>【留学生特別選抜】 TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアから、英語に関する基礎的能力を評価するとともに、英語面接において、英語によるコミュニケーション能力を評価する。</p> <p>②専門科目（筆記試験）</p> <p>【一般選抜（普通入試）・留学生特別選抜】 大学院での専門的な学修・研究に必要な基礎学力及び理論的な思考力などを物理学、数学、化学、生物学、地球科学の基礎的な問題を通じて評価する。</p> <p>③口述試験</p> <p>【一般選抜（普通入試）・留学生特別選抜】 問われた事項を的確に理解し、適切に応える能力を評価する。</p> <p>【一般選抜（自己推薦入試）】 大学院で学ぶ基礎的な能力を有するか否かについて、発表内容と試問結果から総合的に評価する。</p>	<p>学力検査の成績が一定の基準以上である者を合格とする。</p>
都市環境学専攻	<p>①英語</p> <p>TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアから、英語に関する基礎的能力を評価する。</p> <p>②専門科目（筆記試験・口述試験）</p> <p>大学院での学修・研究に必要とされる専門分野における基礎学力を評価する。ただし、社会人特別選抜は筆記試験を課さない（建築学コースを除く）。建築学コースの筆記試験については、日本語で解答することを求める。</p> <p>③面接（配点は行わないが合否判定の参考とする）</p> <p>卒業論文などの過去の実績、入学後の研究計画の発展性などを評価する。 建築学コースの留学生特別選抜では、併せて日本語能力の評価も行う。</p>	<p>学力検査の成績が一定の基準以上である者を合格とする。</p>
社会環境学専攻	<p>①筆記試験（専門科目Ⅰ）</p> <p>大学院での学修・研究に必要とされる、各専門分野における基礎学力を評価する。</p> <p>②筆記試験（専門科目Ⅱ）</p> <p>各専門分野における英文読解力、もしくは専門的な基礎学力や論述能力を評価する。</p> <p>③口述試験</p> <p>【普通入試】 卒業論文等の過去の研究実績、入学後の研究計画の独創性・発展性などを評価する。</p> <p>④口述試験</p> <p>【自己推薦】 卒業論文等の過去の研究実績、入学後の研究計画の独創性・発展性などを評価する。また、英語能力も判断材料とする。</p>	<p>学力検査の成績が一定の基準以上である者を合格とする。</p>

6.5 配点表

専攻等名	一般選抜		留学生特別選抜		社会人特別選抜	
	科目名	配点	科目名	配点	科目名	配点
地球環境科学専攻 (普通入試)	英語	100	英語	100		
	専門科目	100	専門科目	100		
	口述試験	100	口述試験	100		
	満点	300	満点	300		
地球環境科学専攻 (自己推薦入試)	英語	100				
	口述試験	200				
	満点	300				
都市環境学専攻 空間環境学コース (A日程)	英語	200	英語	200	英語	200
	専門科目Ⅰ	500	専門科目Ⅰ	500		
	専門科目Ⅱ	300	専門科目Ⅱ	300		
					口述試験	400
	面接	配点なし	面接	配点なし	面接	配点なし
	満点	1,000	満点	1,000	満点	600
都市環境学専攻 空間環境学コース (B日程)	英語	200				
	専門科目Ⅰ	300				
	専門科目Ⅱ	500				
	面接	配点なし				
	満点	1,000				
都市環境学専攻 物質環境学コース (A日程)	英語	200	英語	200	英語	200
	専門科目Ⅰ	500	専門科目Ⅰ	500		
	口述試験	300	口述試験	300	口述試験	800
	満点	1,000	満点	1,000	満点	1,000
都市環境学専攻 建築学コース (A日程： 自己推薦入試)	英語	200				
	口述試験	800				
	満点	1,000				
都市環境学専攻 建築学コース (B日程)	英語	200	英語	200	英語	200
	専門科目Ⅰ	450	専門科目Ⅰ	450	専門科目Ⅰ	450
	専門科目Ⅱ	350				
	面接	配点なし	面接	配点なし	面接	配点なし
	満点	1,000	満点	650	満点	650
社会環境学専攻 (普通入試)	専門科目Ⅰ	200	専門科目Ⅰ	200	専門科目Ⅰ	200
	専門科目Ⅱ	100	専門科目Ⅱ	100		
	口述試験	100	口述試験	100	口述試験	100
	満点	400	満点	400	満点	300
社会環境学専攻 (自己推薦入試)	口述試験	100				
	満点	100				

7. 合格発表

平成29年9月1日（金）午後3時頃、環境総合館1階の掲示板に掲示する。

なお、後日郵送により判定結果を本人宛通知する。

8. 入学手続き

入学手続きは、平成30年3月28日（水）に行う予定である。

詳細は合格者に対し文書により通知する。（3月上旬に発送予定）

なお、合格者のうち、有職者については入学手続き時に所属長の承諾書または、承諾書に代わる書類の提出を求める。

9. 入学料及び授業料

(1) 入学料 282,000円〔予定〕

(2) 授業料 前期分 267,900円（年額 535,800円）〔予定〕

注1）授業料は、前期及び後期の2期に分けて、入学年度前期にあつては5月（ただし、次年度以降前期は4月）、後期にあつては10月に納入する。

なお、入学時又は在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな学生納付金額が適用される。

注2）国費外国人留学生は、入学料及び授業料の納付は不要。

10. その他

(1) 出願資格、出願書類及び選抜方法等本研究科入学試験に関して不明な点は、あらかじめ大学院係へ問い合わせること。

(2) 外国籍で海外で企業等に在職のまま、本研究科に入学を希望する者は、受験資格の有無を事前に大学院係に問い合わせること。（※本研究科に在留資格「留学」で在学することなどを条件とする。）

(3) 名古屋大学においては、構内への車両の入構規制を実施しているため、受験の際は、公共交通機関を利用すること。

(4) 名古屋市内に暴風特別警報、暴風警報もしくは気象等に関する特別警報が発令され、午前7時までに解除されない場合、あるいは災害発生時には、その日の試験の中止あるいは日程の変更がありうるため、本研究科ホームページ又は大学院係で確認すること。

(5) 出願にあたって提供された氏名、住所その他個人情報、入学者選抜、合格発表、入学手続き及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用する。

なお、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用しない。

(6) 入学試験成績の開示について

受験者本人からの申請に基づき、平成30年度入学試験に係る試験成績について、受験者本人に開示する。

開示内容：入学試験の合計得点並びに募集単位別の合格者の最高点、最低点、及び平均点

※ただし、合格者の最高点、最低点及び平均点については、募集単位別の合格者が10人未満の場合は開示しない。

申請期間：平成29年10月31日（火）～平成29年11月24日（金） 各日10時から16時（土日祝日を除く）

申請方法：本研究科所定の「開示願」により，当該試験の受験票及び返信用封筒（切手貼付）を添付して申請すること。「開示願」については，下記(8)連絡先へ照会して入手すること。

(7) 障がいのある者等の出願

障がい等があつて試験場での特別な配慮を必要とする者にあつては，平成29年6月30日（金）までに，以下の3点を添えて，下記(8)の連絡先へ申し出てください。

- ① 受験上の配慮申請書（志望専攻等，障がいの状況，受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの，様式随意，A4サイズ）
- ② 障がい等の状況が記載された医師の診断書，障害者手帳等（写しでもよい）。
- ③ 障がい等の状況を知っている第3者の添え書（専門家や出身学校関係者などの所見や意見書）。
- ④ 適宜上記①～③以外の書類を添付しても構いません。

なお，入学後の修学に関して相談の希望がある者は，平成29年6月30日（金）までにお問い合わせください。

(8) 連絡先：名古屋大学大学院環境学研究科大学院係

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 D2-2 (510)

TEL 052-789-4590/4272

E-mail env@adm.nagoya-u.ac.jp

平成 30 (2018) 年度
名古屋大学大学院環境学研究科

博士課程 (前期課程) 入学志願票

Master's Program Application Form for the Academic Year 2018
Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University

		※ 受験番号 (Examinee's Number)	
志望専攻・受験希望選択欄	<input type="checkbox"/> I. 地球環境科学専攻 (Department of Earth and Environmental Sciences)	受験希望入試 (Examination type) <input type="checkbox"/> ① 普通入試のみ受験 (General Examination) <input type="checkbox"/> ② 自己推薦入試のみ受験 (Self-recommendation Examination) <input type="checkbox"/> ③ 普通入試、自己推薦入試両方受験 (※) (Both General and Self-recommendation Examinations) ※③は、地球惑星科学系志願者のみ選択可能である。	
		英語試験 (English Language Examination) どちらか一方のみ必ずチェックすること (Please to tick either:) <input type="checkbox"/> スコア提出 (To Submit score sheet of TOEFL, TOEIC, or IELTS) <input type="checkbox"/> TOEFL-ITP を受験 (To take the on-site TOEFL-ITP)	
	<input type="checkbox"/> II. 都市環境学専攻 (Department of Environmental Engineering and Architecture)	受験希望入試 (Examination type) <input type="checkbox"/> A 日程 (Type A) <input type="checkbox"/> B 日程 (Type B)	<input type="checkbox"/> ① 物質環境学コース (Materials and Environment Course) <input type="checkbox"/> ② 空間環境学コース (Spatial Planning and Environment Course) <input type="checkbox"/> ③ 建築学コース 一般選抜 (自己推薦入試) (Self-recommendation Examination in Architecture Course) <input type="checkbox"/> ④ 空間環境学コース (Spatial Planning and Environment Course) <input type="checkbox"/> ⑤ 建築学コース (Architecture Course)
	・空間環境学コース受験希望者のみ以下に記入すること。 (For those taking the examination for Spatial Planning and Environment Course:) 名古屋大学国際環境人材育成プログラムへの参加を希望 (I would like to apply for the Nagoya University Global Environmental Leaders Program (NUGELP).) <input type="checkbox"/> する (Yes) / <input type="checkbox"/> しない (No)		
	<input type="checkbox"/> III. 社会環境学専攻 (Department of Social and Human Environment)		
	・自己推薦入試を希望する場合、事前の了承が必要であるため、以下を記入すること。 (Applicants of "self-recommendation admission" must fill out the information below.) 了承を得た教員名 (Name of your prospective supervisor who approved you of self-recommendation admission) [_____] 英語を主要言語として教育を行う高等教育機関を卒業・修了している/する見込みである。 (Graduation/Expected to graduate from an institution of higher education whose language of instruction is English) <input type="checkbox"/> Yes / <input type="checkbox"/> No ・自己推薦入試においてオンライン受験を希望する場合、事前の内諾が必要であるため、以下を記入すること。(Preference to take online video interview for "self-recommendation admission") 指導教員からオンライン受験の内諾を得ている (Approved by your prospective supervisor) <input type="checkbox"/> Yes / <input type="checkbox"/> No		
氏名	フリガナ (Kana)		
	漢字 (Name in Chinese Characters) (英字欄も記入)		
	英字 (Name in English)	(Family Name, First Name Middle Name)	
	生年月日 (Date of Birth)	年 月 日 生 (Year) (Month) (Day)	性別 (Gender) 男・女 (Male) (Female)
		本籍地 (国籍) (Nationality)	国 / 都・道 府・県

1. 一般選抜 (General Application)
 2. 留学生特別選抜 (Special Application for International Students)
 3. 社会人特別選抜 (Special Application for Career Professionals)

平成30年度

受験票

(Examinee's Registration Card)

志望専攻 (Department)	
指導教員名 (第1志望)* (Prospective Supervisor) [First Choice]	
指導教員名 (第2志望)* (Prospective Supervisor) [Second Choice]	
※受験番号 (Examinee's Number)	(記入しない) (Do not write here)
フリガナ (Name)	
生年月日 (Date of Birth)	年 月 日 生 男・女 (Year) (Month) (Day) (Male) (Female)

- 本票は、常に携帯し、入学の手続きが完了するまで保存すること。
 - 本票は、試験の際に机の上に置いて監督者に見えるようにすること。
 - 本票は、監督者の請求があれば何時でも見せること。
 - 遅刻した者は、指定された試験室の監督者に申し出ること。
- Keep this card at hand until the enrollment procedures for entrance are completed.
 - Place this card on the desk during the examination.
 - Present this card whenever required.
 - Notify the proctor if you are late for the examination.

*「志願理由書」下部の注意書きを参照し、同理由書の指導教員名(未定の場合は分野名)と同じものを記入すること。
* Refer to the note at the bottom of "Reason for Application". Prospective Supervisors (Fields of Researches if not decided) here should be the same as the ones on "Reason for Application".

受験票と写真票は
切り離さないこと

1. 一般選抜 (General Application)
 2. 留学生特別選抜 (Special Application for International Students)
 3. 社会人特別選抜 (Special Application for Career Professionals)

平成30年度

写真票

(Photograph Card)

志望専攻 (Department)	
指導教員名 (第1志望)* (Prospective Supervisor) [First Choice]	
指導教員名 (第2志望)* (Prospective Supervisor) [Second Choice]	
※受験番号 (Examinee's Number)	(記入しない) (Do not write here)
フリガナ (Name)	
生年月日 (Date of Birth)	年 月 日 生 男・女 (Year) (Month) (Day) (Male) (Female)

写真貼付欄
(Attach photograph here)
(4 cm × 3 cm)

- 写真は正面向き半身脱帽3ヶ月以内に撮影したものであること。
 - 全面糊付けすること。
- Photograph should be full-faced and taken within the last 3 months.
 - Apply glue to entire reverse side.

出席確認欄

履 歴 書 (Curriculum Vitae/Resume)

志 望 専 攻 名 (Department)	氏 名 (Name)	※ 受 験 番 号 (Examinee's Number)

学 歴 (Educational Background)					
区分 (Level)	学校名 (Name of School)	正規の就学年数 (Required Years of Study)	入学及び卒業年月 (Year & Month of Entrance & Completion)		学位／資格 (Diploma or Degree awarded)
			年 (Year)	月 (Month)	
小学校 (Elementary School)		年 (Years)	From:		/
			To:		
中学校 (Junior High School)		年 (Years)	From:		/
			To:		
高校 (Senior High School)		年 (Years)	From:		/
			To:		
大学 (Undergraduate School)		年 (Years)	From:		/
			To:		
大学院 (Graduate School)		年 (Years)	From:		/
			To:		
研究生等 (Research Student) (Department / School)		年 (Years)	From:		/
			To:		
その他 (Other)		年 (Years)	From:		/
			To:		

職 歴 (Employment Record: in reverse chronological order)				
勤務先 (Name of Company)	勤務期間 (Period of Employment)		役職名 (Position)	職務内容 (Type of Work)
	年 (Year)	月 (Month)		
	From:			/
	To:			
	From:			/
	To:			
	From:			/
	To:			

注意

1. 学歴は高等学校卒業から記入すること。ただし、外国人出願者及び外国の大学を卒業した者は初等教育から全て記入すること。
 2. 学歴欄の大学、大学院、研究生等は、学部／研究科名まで記入すること。
 3. 学歴・職歴とも、名称等は省略せず正確に記入すること。
 4. 空白期間がないよう全て記入すること。
1. Academic record should be given starting with high school graduation. However, international applicants and those graduated from a foreign university should give full details starting from their elementary education.
 2. Name of department and school should be given in "Undergraduate", "Graduate", and "Research Student" in the column of "Educational Background".
 3. Do not use abbreviated names for any of the listed educational establishments or work places.
 4. There should be no blank periods.

自己推薦書

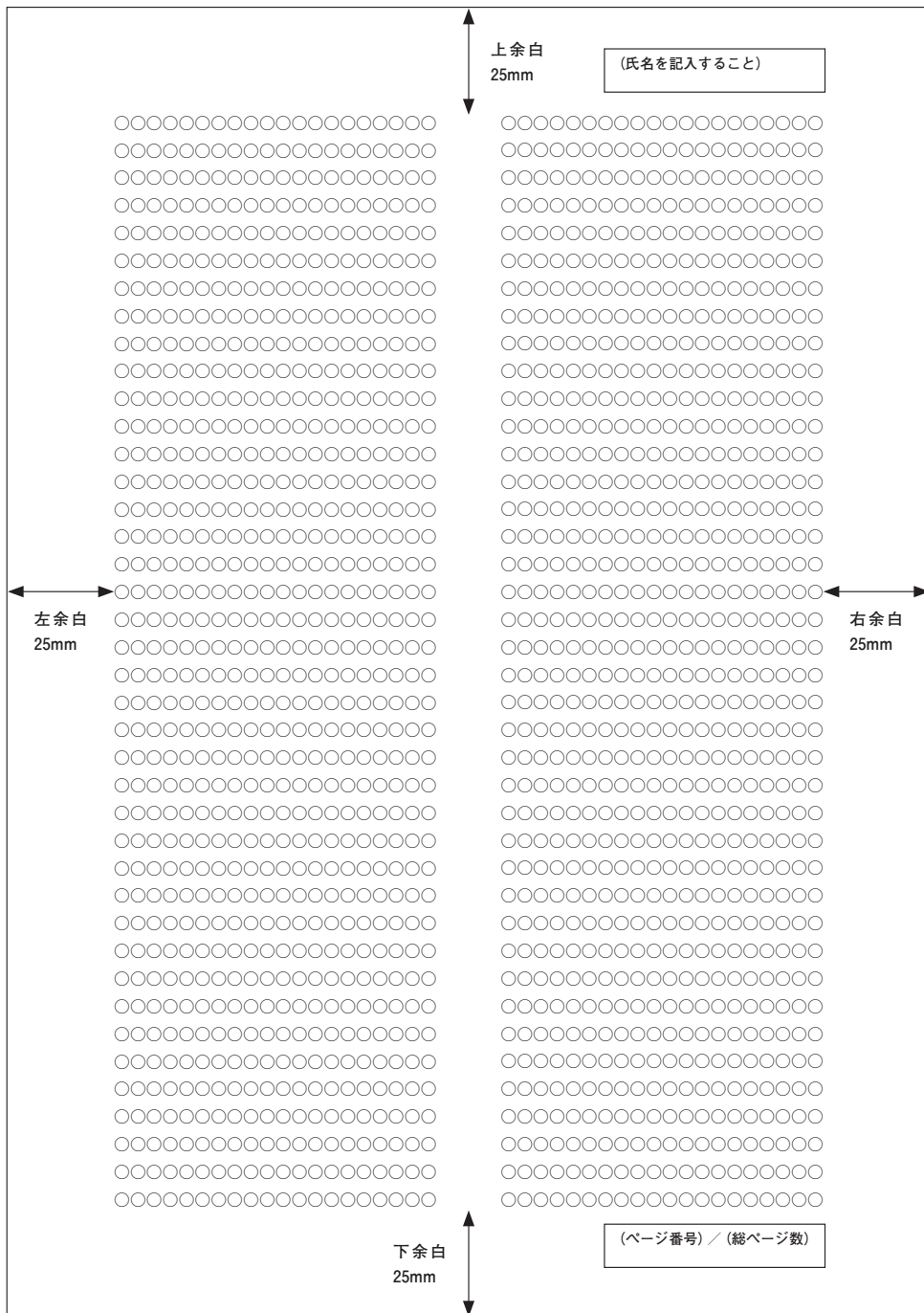
(地球環境科学専攻, 社会環境学専攻で自己推薦入試を受験する者)

在学する(出身)大学・学部	氏名	※受験番号

都市環境学専攻建築学コース 一般選抜（自己推薦入試）

自己推薦書 様式

- ・ これまでの学習等活動の内容と入学後の学習や研究等に関して10ページ以内にまとめ、左上部をホッチキス止めして提出すること。
- ・ 自己推薦書作成に際しては、ワープロ等を使用して作成してよい。必要に応じて図表等を貼り付けてよい。色使いは白黒でもカラーでもよい。
- ・ 2段組みで1段は20字×40行とする。文字サイズは10ポイント程度とし、左右上下の余白は25mmを基本とする。
- ・ 各ページの右上に氏名欄を作成し、氏名を記入する。また各ページの右下にはページ番号と総ページ数を記入する欄を作成し、「ページ番号／総ページ数」の形式で記入する。記載方法は本様式に準じて作成すること。



領収証書 (RECEIPT)

氏名 (NAME) 殿	平成 29 年 度	第 号
	国立大学法人名古屋大学	
	入 学 検 定 料	
納 付 金 額	千 百 十 万 千 百 十 円	¥ 3 0 0 0 0
平成 年 月 日 領収		

氏名は本人が記入すること。

(切り離さないこと)

領収証書 (控)

氏名 (NAME) 殿	平成 29 年 度	第 号
	国立大学法人名古屋大学	
	入 学 検 定 料	
納 入 金 額	千 百 十 万 千 百 十 円	¥ 3 0 0 0 0
平成 年 月 日 領収		

氏名は本人が記入すること。

(切り離さないこと)

